

# 学力向上に効果のある取り組み事例

杵築市立杵築小学校

## ⑰ 校内研修などによる授業改善

### <「毎年の積み重ね」「日々の積み重ね」を大切にする授業改善の取り組み>

本校では、授業改善の取り組みを行うにあたり

- ①前年までの「成果や課題」を全員で共通理解し、「子どもたちについてきていける力・伸ばすべき力」を明確にして、その年の取り組みをさらに重ねること
  - ②学力の向上を促し、支える取り組みを「どの教室でも」日々積み重ねること
- という2つの「積み重ね」を大切にして、校内研修に取り組んでいる。

#### 「毎年の積み重ね」を大切にする取り組み

- ◆第1回の校内研修において、全員で「これまでの校内研究（授業改善）の歩み」と、「本年度の重点」が生み出された経緯を共通理解した。 ※パワーポイント活用



本校の子どもたちの「ついてきた力」「育てるべき力」を知ることによって、毎年が「新しいスタート」ではなく、**取り組みの「積み重ね・スパイラル」が可能になっている**

#### 「日々の積み重ね」を大切にする取り組み

- ◆同じ方向性を持って日々取り組んでいくために、「杵築小学校の『どの教室でも』」を共通理解した。（第2回校内研修） ※パワーポイント活用

2021年度授業改善（校内研究）テーマ

### 共に学び合う授業を求めて

～「子どもたちどうしのつながり」を生む手立ての工夫を通して～

#### 重点的取り組み

- <1学期>子どもたちの「やってみよう」「え！？」につながる「めあて」「課題」の設定
- <2学期>目的の明確な交流活動の設定
- <3学期>友だちとの学びのよさや「わかった・できた」を実感するふり返し



- ①どの時間の授業にも「めあて」を示すこと（カードの使用による子どもたちへの「見える化」）
- ②子どもたちにとって「学びの地図」となる板書の実行
- ③基本的な学習過程
- ④子どもたちが、「友だちの考えや思いを理解しているか」を確認しながら授業を進めていく（「具体的な教師の声かけ例」をラミネートしたものを授業者全員に配布）
- ⑤個に応じた授業を進めていく  
「その子の実態をつかむ」→「ではこうしてみよう」

- ◆毎回の校内研修では、日々の取り組みの様子を語り合い、意見を交わし合う時間を持っている。それにより、各自が、自分の実践をふり返ったり、ヒントとなる見方や考え方を得たりすることで、質的な向上を図ることができている。

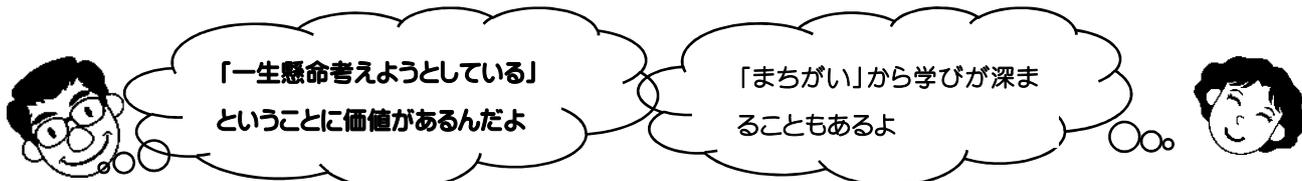


- ◆取り組みの検証やふり返りを通して、次に取り組むべきことを明らかにし、ポイント化して共通理解している。そのことにより、みんなが同じ意識と方向性を持って取り組むことができている。

< 2021年度 2学期始め 共通理解事項資料 >

## 「みんなでかしくなろう」の 合い言葉を基盤にした授業づくりをさらにすすめる

### ①学級風土は教師がつくる



教師自身が態度にして、言葉にして、子どもたちに伝え、広げていく。

### ②何のために・何を話し合うのか明確にして ペアやグループ活動を取り入れる(2学期重点)

※先生が困った時ではなく、子どもたちが困った時  
(友だちと相談したいなあ)が、取り入れる時

➡ それぞれの学級の「相談タイム」を子どもたちとつくりよう

### ③実態の把握から困り・つまずきの想定へ

➡ どの子どもが、「自分なりの考え」を持って学習に参加できる授業をめざす。

### ④子どもたちの「理解」に立ち止まる

➡ くりかえさせてみる・させてみる・(「確認の言葉かけシート」の活用)



「伸びていこう」とする子どもを育てるために・「共に学ぶことの良さ」を感じられる子どもを育てるために

### ⑤学びの「ふり返り」を取り入れていこう

「いつも書く」ことにこだわらず・・・